

登園の目安

保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について治癒証明書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育所生活が可能となる状態となつてからの登園であるようご配慮ください。(学校保健安全法施行規則第19条 第二種、第三種感染症)

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあっては3日を経過するまで)
風疹	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下線腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため医師により感染の恐れがないと認めるまで
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

SIDS（乳幼児突然死症候群）

今まで元気だった赤ちゃんが、ある日突然死んでしまう。

SIDS（乳幼児突然死症候群）は原因不明の病気で、「赤ちゃんのぼっくり病」と言われています。この病気は世界中にみられ、日本でも多くの赤ちゃんが命を落としています。

●SIDSの特徴

- ① ほとんどが昼夜を問わず睡眠中に起こっています。
- ② 声を上げたり、もがき苦しんだりすることなく、スーッと亡くなってしまいます。

●SIDSについて現在わかっていること

- ① 生後2ヶ月の赤ちゃん（4～6ヶ月がピーク）から、2歳ごろまで発症する可能性があります。
- ② 日本ではSIDSで亡くなる赤ちゃんは「2,000人に1人（年間約600人～700人）」と言われています。また、生後4ヶ月の死亡原因の59%がSIDSとされています。
- ③ SIDSの原因、遺伝するかどうかなどはわかっていません。

●気をつけるべきこと

- ① 赤ちゃんはできるかぎり「うつぶせ寝」をやめ、「仰向け」か「横向き」に寝かせる。
- ② 暖めすぎない。（布団を掛けすぎない。布団を頭からすっぽり掛けない。）
- ③ 妊娠中、並びに少なくとも生後1歳になるまでは、赤ちゃんの周りで喫煙しない。
- ④ できるかぎり母乳で育てる。

この病気はいつどこで発症するのかわかっていません。

お子さまをお預かりしている保育内で起こるかもしれません。

当園では、SIDSだけでなく窒息などの原因にもなりかねませんので、「うつぶせ寝」ではなく、「仰向け寝」か「横向け寝」とします。

また、健康チェックをこまめに行い、体調には十分注意して保育します。特に2歳までは細心の注意が必要です。お子さまの体調がすぐれないときは、決して無理をさせません。

予防接種と対象年齢

予防接種名	名古屋市の標準的な接種年齢	法律による対象年齢	接種会場
BCG	3ヶ月児健康診査時に併せて実施	1歳未満	保健所
小児用肺炎球菌	I期初回：2～12ヶ月に3回 II期追加：12～15ヶ月に1回	生後2ヶ月～ 90ヶ月未満	かかりつけの 医師にご相談 ください。
ジフテリア 百日咳 破傷風 ポリオ (DPT-I PV 4種混合)	I期初回：3～12ヶ月に3回 I期追加：初回接種後12～18ヶ月に1回	3～90ヶ月に3回、 初回終了後6ヶ月以 上の間隔を置く	
麻疹 風疹 (MRワクチン)	I期：12～24ヶ月未満 II期：5歳以上7歳未満で、小学校就学前年度の4月1日～ 3月31日までの期間		
日本脳炎	I期初回（2回法）：6～90ヶ月未満 I期追加：6～90ヶ月未満 II期：9歳～13歳未満		
水痘	I期初回：1歳以上で2回		
ヒブ	I期初回：2～12ヶ月に3回 II期追加：12～18ヶ月に1回		

任意の予防接種

任意の予防接種	対象年齢	接種回数
インフルエンザ	全年齢	2回
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1歳以上の未罹患児	1回
B型肝炎	0歳以上の未罹患児	3回
ロタウイルス	2ヶ月以上の未罹患児	3回
A型肝炎	1歳以上の未罹患児	3回

※＜摂取間隔＞

- ・生ワクチン：4週以上（BCG・MRワクチン・流行性耳下腺炎・水痘・ロタ）
- ・不活性ワクチン：1週以上（4種混合・日本脳炎・インフルエンザ・A型肝炎・B型肝炎・ヒブ・小児用肺炎球菌）